

[The Sakasegawa River Guide Book]

逆瀬川ガイドブック

～自然と歴史を訪ねて～

著者 小林聖心女子学院小学校 4年生児童
監修 三澤尚久・中條美穂子・桑木房子・加藤愛

CONTENTS

- 02 逆瀬川とは
- 03 逆瀬川 生き物図鑑
- 05 逆瀬川 植物図鑑
- 07 日本初の「流路工」が災害を防いだ川
- 09 逆瀬川の自然を守ろう！市民運動の軌跡
- 11 逆瀬川 MAP
- 13 コラム 逆瀬川×探究学習

逆瀬川とは



逆瀬川^{さかせがわ}は、兵庫県宝塚市を流れる二級河川である。六甲山地の檜ヶ峰^{かしがみね}を水源とし、宝塚市内を通り、二級河川武庫川^{むこがわ}に合流する。川の長さは約6kmである。

ゲンジボタルやミヤマアカネが生息できるような、きれいな水が流れている。また、街の中であって、住民が水遊びや散歩をして親しめる、貴重な自然環境の1つでもある。

ボロボロになりやすい花崗岩^{かこうがん}でできた六甲山地にある逆瀬川。土砂が流出し積もることが多く、たびたび洪水がおこり、人々を困らせてきた。明治の終わりから昭和のはじめにかけての砂防工事により、大規模な洪水が起こらなくなった。

2019年(令和元年)、土木学会による「選奨土木遺産^{せんしょう土木遺産}」に選ばれた。歴史的にも、大きな価値のある川である。

逆瀬川 生き物図鑑



ドンコ

体長10~25cm。かくれ場所は、石の下、大きい葉の下など。えさはミミズ、小魚、虫などを丸ごと食べる。



ヨシノボリ

大きさは10cm以内の魚で、様々なようが見られる。かくれ場所は、ほとんどが石の下。水生こん虫を食べる。



写真提供:宝塚エコネット

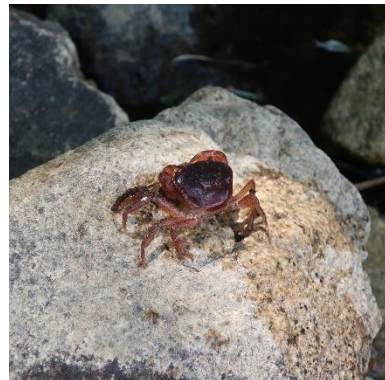
ホタル

逆瀬川に生息している種類は、ゲンジボタルやヒメボタル。幼虫の時はカワニナを食べ、成虫になると水しか飲まない。



ミヤマアカネ

食べ物は、飛んでいる小さな虫。夏はのんびり過ごすのが、秋になるとすばしっこくなる。兵庫県絶滅危惧種(ランク)。



サワガニ

川底のごみを食べてくれるカニ。他にも水草や藻やイトミミズを食べる。きれいな水のあるところにいる。



マガモ

きれいな緑色の頭のカモの仲間。めったに見られない。オスに比べてメスは地味な色で、池や河川で見られる。



写真提供:宝塚エコネット

カルガモ

大きさは60cm前後。主に水面・水中の植物や草の種子、昆虫などの小動物を食べる。雌雄同色で、一年中同じ羽色をしている。



写真提供:宝塚エコネット

サギ

全長約60~90cm前後。主に川にいる魚やカエルなどを食べる。逆瀬川にはゴイサギ、コサギ、アオサギなどがやってくる。



モクズガニ

約15cmほどの大きさ。はさみに毛が生えている。藻や魚の死がいなんなんでも食べ、川をきれいにする。

逆瀬川探検に出かけよう



おすすめの服装や持ち物

逆瀬川に遊びに行くときには、ぬれてもいい服で、長そで長ズボン、リバーシューズを準備すると、腕や足のケガを防げる。魚や虫などをつかまえるためのあみや虫かご、水中を観察できる箱メガネ、バケツなどを持っていくのもおすすめ。



生き物を見つけるポイント

おすすめの場所は、西山橋北側の内畑緑地公園から下りたところ(地図 P11④)。カニは、大きな石や岩をひっくり返すとみつかると。また、水辺の草の生えぎわをあみですくうと、魚やヤゴなどがとれる。水の中を歩くときは、できるだけそっと歩こう。

ホタルの観察に行ってみよう



ほたる鑑賞のタベ

毎年、宝塚ゴルフ倶楽部と宝塚市の共催で開かれているイベント。逆瀬川の中だけでなく、歩いている人の近くにもホタルが寄ってくるのが楽しい。

日時 毎年6月 **場所** 宝塚ゴルフ倶楽部(地図 P11②)

問合せ 宝塚市環境政策課 ☎ 0797-77-2070



ホタルの里 ピカピカランド

環境ボランティアグループ「宝塚エコネット」がホタルを飼育し、5～6月に毎日美しいホタルを間近でじっくり観察できる。

日時 毎年5～6月 **場所** 内畑緑地内(地図 P11③)

問合せ 宝塚エコネット ☎ 0797-86-5001

逆瀬川の生き物クイズ

第1問

ドンコはどこにかくれているでしょうか。

- ①水ぎわ ②石や葉の下 ③石の上

正解は②。実はこわがりな性格で、石と石のすきま、かれ葉の下でじっと隠れて身を守っている。

第2問

サワガニは、どんなものを食べるでしょう。

- ①枯れ葉 ②ミミズ ③魚の死体

正解は①②③。雑食性で、枯れ葉、虫や魚の死体、ミミズ、藻など食べる川の掃除屋なのである。

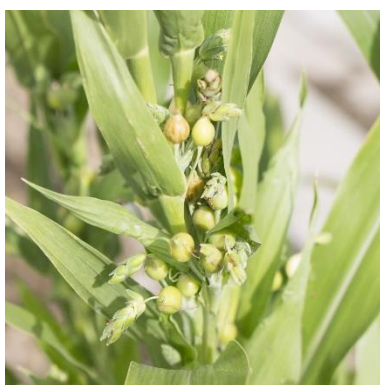
第3問

逆瀬川には何種類の生き物がいるとされているでしょう？

- ①10種類 ②15種類 ③30種類

正解は③。自然豊かな逆瀬川には、30種類以上の生き物が見られる。私たちも15種類以上見つけた。

逆瀬川 植物図鑑



ジュズダマ

野原や道ばた、水辺に生えているイネ科の植物。名前の由来は、昔は、数珠の球として使われていたから。



オランダガラシ

アブラナ科の多年草。別名クレソン。ステーキにそえるために栽培していたものが野生化。タネが散らばり逆瀬川に生えた。



ヘビイチゴ

バラ科の野イチゴの一つ。モミジイチゴやカジイチゴなどたくさんの種類がある。ヘビイチゴは食べられるが、おいしくはない。



ギシギシ

道ばたや、野原に生える。名前の由来は、葉を引くと「ギシギシ」というから。昔は、野菜として食べられていた。



スノーフレーク

ヒガンバナ科の逸出植物で、2月～4月に咲く。オオマツユキソウとも呼ばれる。花はスズランのように丸っこくかわいい。



オオカナダモ

全国の湖沼、池、川などに群生する細長い水草。別名アナカリス。オオカナダモが集まるところは魚の住みかになっている。



ツルヨシ

上流の砂れき地に生えるヨシの仲間。匍匐茎(地表をはう茎)がある(写真上)。増水時に土砂の流失を防ぐ役割も果たす。



ムラサキツクサ

ツクサ科の逸出植物。5～6月の梅雨の時期に、毎日次々と咲く。朝咲いたら、夕方までには花が閉じてしまう。



その他の植物

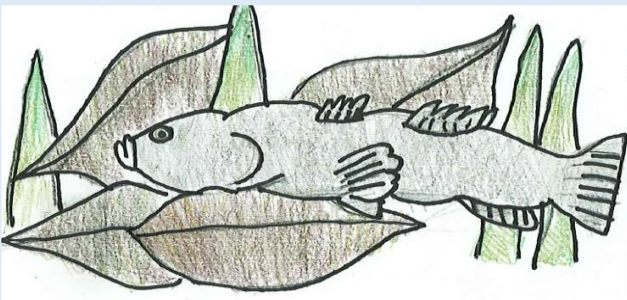
逸出植物でキク科のパラペラヨメナ(右上)、イネ科のコバンソウ(左)、外来種でオオバコ科のヘラオオバコ(右下)などがある。

植物のおかげで……



コケ、雑草は悪者なのか？

コケや雑草は、必要ないと思われがち。実は、コケや雑草には、①生き物のエサになる、②水鳥が産卵できる、③水をきれいにするなどの役割がある。すべての植物には、それぞれの役割があるのだ。



逆瀬川の生き物と植物の関係

トビゲラは、オオカナダモの葉で作ったケースをかぶり、ドンコは川底のかれ葉などにかくれて生活している。生き物は植物を利用して身を守っている。生き物にとって植物は必要な存在なのだ。

外来種について考えよう



オオキンケイギク

北アメリカ原産のキク科の外来種。あざやかな黄色の花が特徴。観賞用に船で運ばれ、野外に定着した。在来種を枯らすのが問題になり、「特定外来生物」「侵略的外来種ワースト 100」に指定された。



写真提供：安田重雄様

オオキンケイギク駆除体験

宝塚市と宝塚市自然保護協会の共催で、外来種のセミナーと、オオキンケイギク駆除体験が行われている。

日時 毎年5月末 **場所** 西山小学校内 ウェル西山

問合せ 宝塚市環境政策課 ☎ 0797-77-2070

逆瀬川の植物クイズ

第1問

逆瀬川の植物のお手入れは、誰がしてくださっているでしょう。

- ①宝塚市の方 ②していない
- ③逆瀬川の自然を守る会の方

正解は①。宝塚市が、草刈りを春と秋に実施しているが、あとは自然に植物が育っている。

第2問

逆瀬川は昔から植物が多かったのでしょうか。

- ①昔からずっと植物は多かった
- ②昔は植物は少なかった

正解は②。逆瀬川砂漠と呼ばれていた1928年までは、流路が固定されておらず、植物は定着しなかったが、

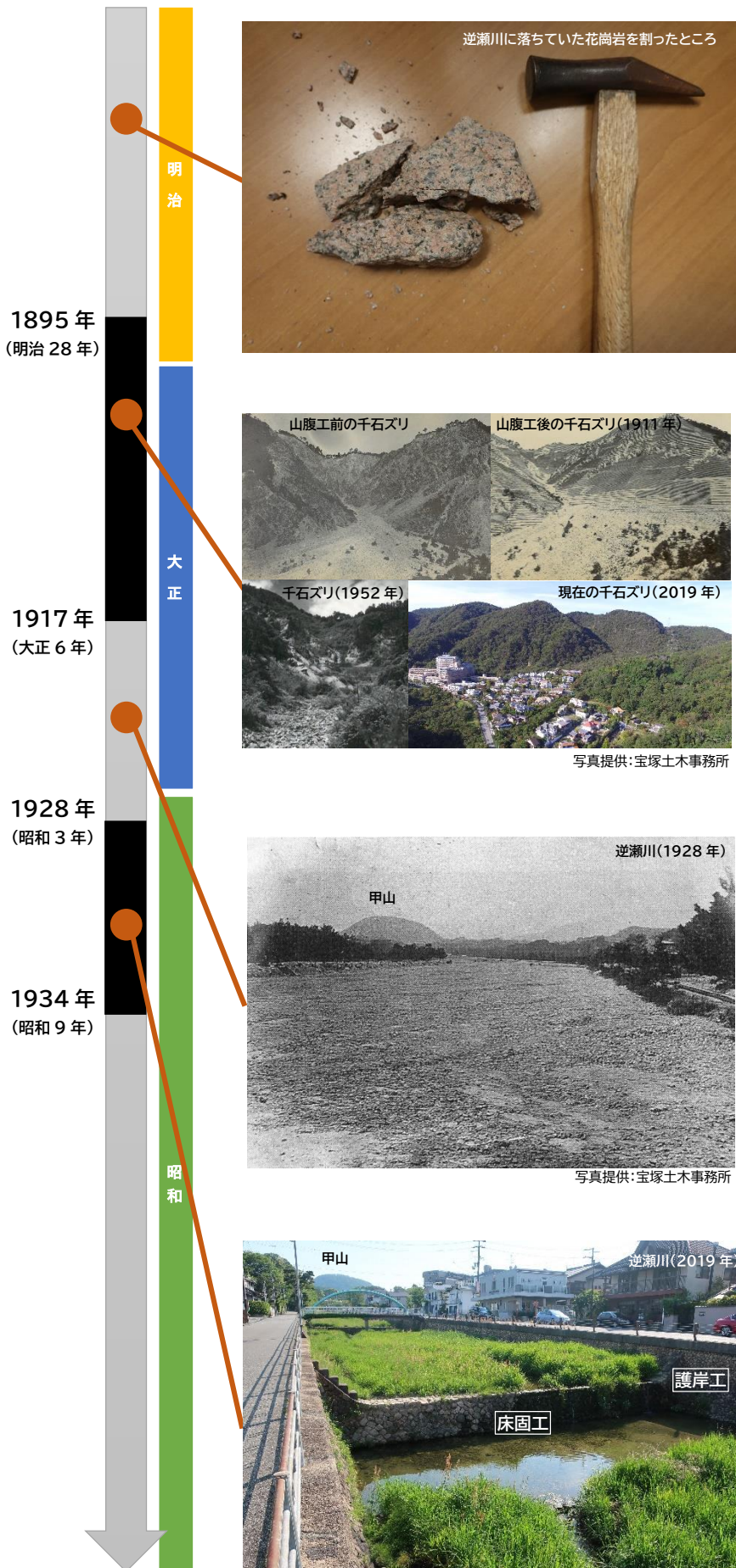


写真提供：宝塚土木事務所

写真提供：安田重雄様

流路工が行われて以降は流路が固定され、河川敷に115種類以上の豊かな植物が根付いた。

日本初の「流路工」が災害を防いだ川



六甲山系の”もろい”花崗岩

花崗岩は、マグマが固まってできた岩である。長い時間がたつと、砂のようにポロポロになる性質があるため、花崗岩でできた山では、雨が降ると土砂災害がよく起こる。六甲山地も花崗岩でできていて、逆瀬川もたびたび土砂災害や氾濫が起こり、人々が困っていた。

歴史が積まれた山腹工・砂防堰堤

1895年、逆瀬川上流で山腹工が始まった。これは、はげ山を段状に整え、木を植える工事である。雨が降った時、木の根が雨水をため、土砂の流出を防いでくれる。その後「砂防堰堤(右欄参照)」の工事も始まった。約30年間の工事の末、逆瀬川の土砂災害は減っていった。

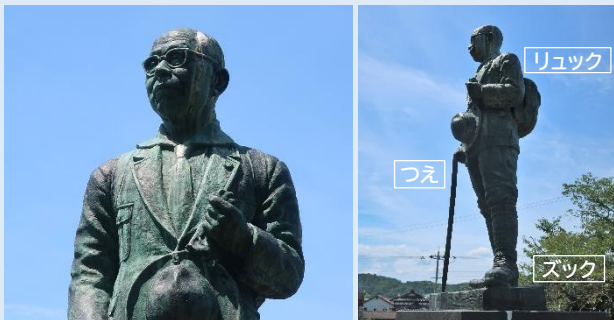
逆瀬川“砂漠”

逆瀬川中流は、逆瀬川砂漠と呼ばれていた。川幅は200m近くあり、流路は曲がりくねり、河川敷には多量の土砂が積もっていた。そのため、山腹工、堰堤工が完成し土砂災害が減っても、逆瀬川下流にある武庫川への土砂流出は止まらず、武庫川の氾濫の心配は続いた。

日本初の流路工

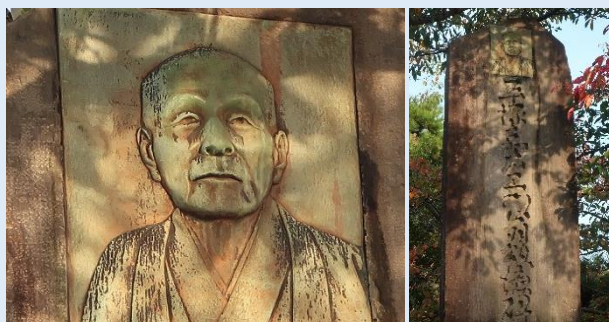
1928年、日本初の流路工が赤木正雄の指揮で始まった。これは、川岸を固める護岸工により氾濫を防止し、川床を固める床固工により流路を固定して川床が削られたり土砂が流出したりするのを防ぐ工事である(地図P11⑤)。以降、逆瀬川の土砂流出は止まり、現在まで氾濫・土砂災害は起こっていない。

逆瀬川開発に貢献した人物



あかぎまさお
赤木正雄

1887年豊岡市生まれ。東京帝国大学を卒業後、内務省に入る。私費でヨーロッパに留学後、日本の地形に合わせた砂防理論を確立し、砂防の父と呼ばれる。逆瀬川をはじめ全国の砂防工事を主任として指揮した。



ひらつかかえもん
平塚嘉右衛門

1875年宝塚市生まれ。果樹園、温泉、水道、ホテルを経営、また村長にもなり、時代をリードした。逆瀬川砂防工事を引き受け、造成した土地2万坪を販売。夜、宝石のように輝く両岸の住宅は、彼の功績の一つである。

土木遺産になった逆瀬川



美しい^{よるいつみえんてい}鐵積堰堤が残る川

^{さぼうえんてい}砂防堰堤とは、川に段差を作って水の流れをゆるやかにし、土砂の流出を止めることで災害を防ぐ施設。中でも鐵積堰堤は、落水がコブにあたり、堰堤の下の地面が削られずにすむ特徴がある。見た目も美しい(地図P11①)。



どうして土木遺産になったのか

令和元年、逆瀬川の砂防設備が、「土木学会選奨土木遺産」に選ばれた。理由は「赤木正雄によるわが国最初の流路工であり、その後も当初のデザインをよく残り、防災対策の成果が優れているから」。

逆瀬川の地名クイズ

第1問

名前に「逆流して流れが早い」という由来のある川は、どれでしょう。

- ①^{むこがわ}武庫川 ②^{さかせがわ}逆瀬川 ③^{にがわ}仁川

正解は②。逆瀬川は、昔はあばれ川とも呼ばれ、よく^{はたか}氾濫し、多くの土砂が下流にたまるのが、逆流の原因だった。

第2問

洪水であふれた水が、ものすごく速いスピードで通った場所は、どこでしょう。

- ①^{おばやし}小林 ②^{せんごく}千石ズリ ③^{たからづか}宝塚

正解は①。小林と書いておばやしと読む珍しい地名。「^{はやし}林」は「^{はやし}速し」の意味で、洪水が通過する場所だった。

第3問

土地が移動して崩壊がおき、地滑りが起こったことが分かる逆瀬川周辺の地名はどれでしょう。

- ①^{もみじだに}紅葉谷 ②^{かしがみね}櫛ヶ峰 ③^{ゆづりは}譲葉

正解は①②③。紅葉谷は「^{もみじ}揉み地」、櫛ヶ峰は「^{かし}傾ぐ」、譲葉は「^{はら}掃する」で、どれも傾斜地や地滑り地帯を意味する。

逆瀬川の自然を守ろう！市民運動の軌跡



広報たからづか 1990年1月1日



工事の様子(1990年)

写真提供:逆瀬川の自然を守る会

逆瀬川が生まれ変わる!?

1990年1月「広報たからづか」で、突然「逆瀬川環境整備事業」が発表された。これは、宝塚市が商業施設から「新しいビルの景観に合わせた川にしたい」との要望を受け、逆瀬川をコンクリート化する工事だった。すぐに工事が始まったが、たくさんの宝塚市民からの反対の声が上がった。



市役所での話し合いの様子(1993年)

写真提供:逆瀬川の自然を守る会

「逆瀬川の自然を守る会」の結成

逆瀬川のコンクリート化に反対する市民(結成時は主婦4人)が集まり、「逆瀬川の自然を守る会」を結成した。川の持つ力や生命力を残してほしい、人工の川にうるおいはない、との強い思いを訴えた。



調査活動の様子(1994年)

写真提供:逆瀬川の自然を守る会

逆瀬川への愛を行政に伝えよう

逆瀬川の自然を守る会の方は、「自然のままの逆瀬川への愛着を、何としても宝塚市の行政に聞いてもらいたい」と考えた。そこで街頭署名運動を行い、最終的に一万人以上の署名を集め、宝塚市長に提出した。また、当時京都大学客員研究員だった細見彬文先生と「阪神間の自然破壊度調査」を行い、阪神間で最も自然が残る地域の一つであることも新聞に発表し、逆瀬川の自然を守る意義を伝えた。



2019/09/05

写真提供:逆瀬川の自然を守る会

コンクリート化中止 正式決定

1990年5月から始められた逆瀬川コンクリート化工事は、11月に中断され、コンクリート化されたのは一部分だけになった。

その後、中断されていた工事は、1997年に正式に中止された。その時の宝塚市長も、「これで良かったと思う」と工事の中止を歓迎した。

1990年
(平成2年)

1997年
(平成9年)

昭和

平成

令和

今も残るコンクリート化工事の跡



阪急逆瀬川駅周辺の様子

今でも、阪急逆瀬川駅周辺ではコンクリート化のあとを見ることができる(地図 P11⑥)。とくに^{なきりぼし}菜切橋の下が、工事が一番進んでいたところ。それでも自然はたくましく、コンクリート化して整備したところにも、たくさんのこけや雑草が生えてきている。

また、コンクリート化した部分の^{かしょう}河床には、今でも汚れたヘドロがたまっているのが分かる。

逆瀬川の自然を守る会からのメッセージ



自ら勉強しよう！

講演会の中で、現代表大日向美那子さんは「自分で手をあげないと物事が進まない！」「手をあげると勇気や自信が手に入る」とお話してくださり、私たちも勇気をいただいた。最後に「自分自身でたくさん本や新聞を読んで勉強しましょう」とすすめてくださり、私たちも勉強して、人のために役立ちたいと思った。



逆瀬川は宝塚の宝物

逆瀬川の自然を守る会の方々は、20年以上も、毎月1回、河原のごみ拾いをされている。みなさん、逆瀬川が大好き。逆瀬川は、宝塚の宝物なのだ。

逆瀬川の用水路クイズ

第1問

逆瀬川から伸びる用水路には、ある目的のために水を引いています。その目的とは何でしょう。

- ①農業用水 ②飲料用水 ③生活用水

正解は①。この農業用水は、西山橋から上流へ徒歩5分ほどの、ピカピカランド横から流れ始めている。

第2問

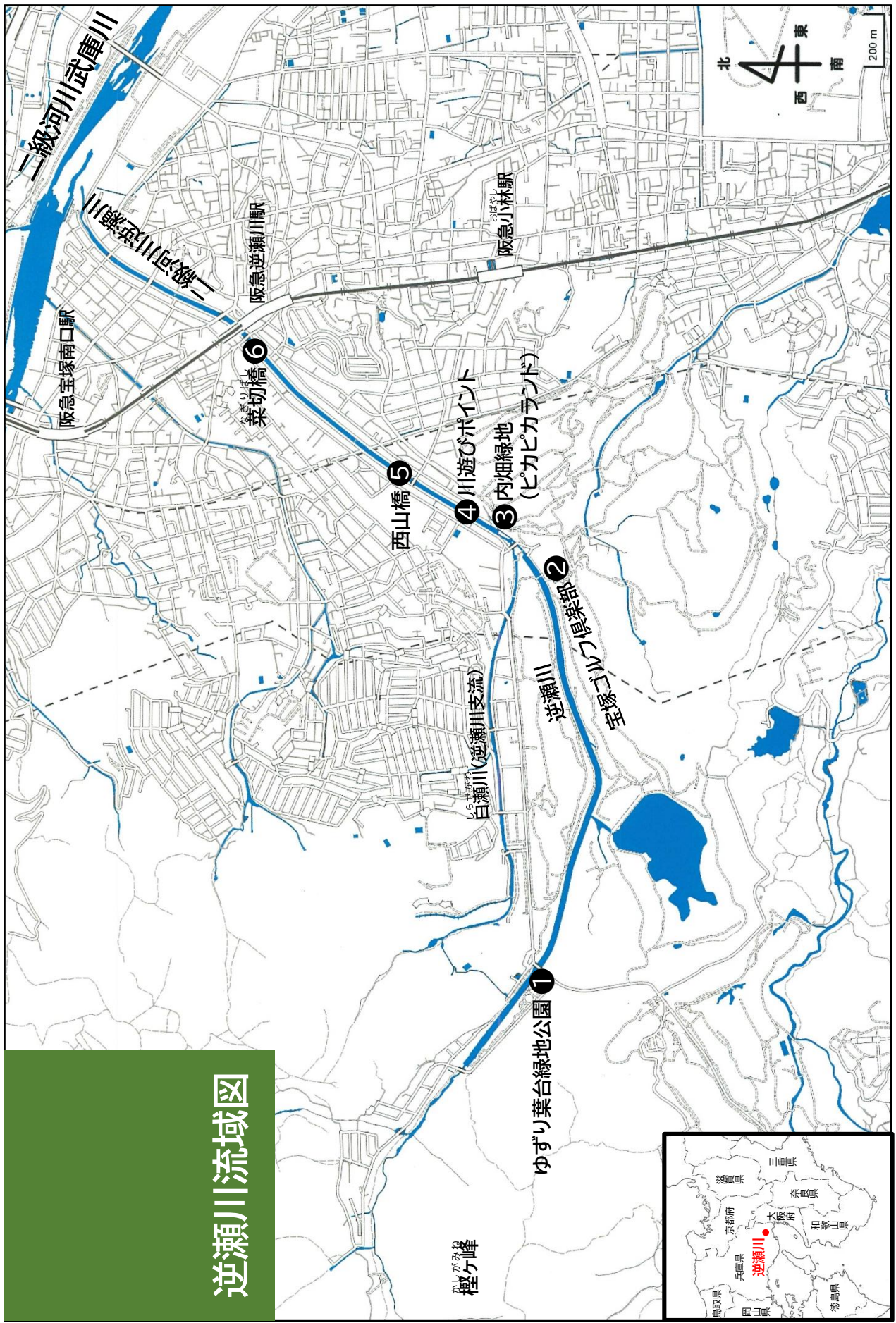
逆瀬川から引いた用水路の水は、どこまで流れているでしょう。

- ①宝塚市全体 ②逆瀬川付近のみ
③逆瀬川と^{おぼやし}小林付近

正解は③。逆瀬川付近だけでなく、数キロメートル下流の小林駅付近まで流れ、農業用水として利用されている。



逆瀬川 MAP



出典：地理院地図 Vector をもとに作成

逆瀬川流域図



①ゆずり葉台緑地公園 **参P 8**
 左手には砂防モニュメントがあり、中に逆瀬川の砂防の歴史についてのパネルがある。
 銚漬堰堤ちうじけいが見えるのもこの場所。左手に見える山が、逆瀬川源流の魁ヶ峰かみかみ。



②宝塚ゴルフ倶楽部 **参P 4**
 毎年6月初めに、ほたる鑑賞のタバが開かれる。2日間で例年2000人ほどの市民が訪れ、ゴルフ場内に流れる逆瀬川に飛び交うホタルを鑑賞している。



③内畑緑地（ピカピカランド） **参P 4**
 ボランティアグループ「宝塚エコネット」がホタルを飼育している施設。毎年5月～6月にピカピカランド内のホテルを外から観察できる。



④川遊びポイント **参P 3～6**
 内畑緑地のすぐ下流は、流れもゆるやかで、生き物がたくさんいるので、川遊びにオススメです。階段が急なので、大人の人が子供をサポートしてあげて。



⑤西山橋 **参P 7**
 日本初の流路工の行われた場所が一望できる。また両岸の住宅地を奥までよく見ると途中で盛り上がり、昔の逆瀬川砂漠の河道が広がったことが実感できる。



⑥菜切橋 **参P 9**
 阪急逆瀬川駅西口を出ると目の前にあり、逆瀬川環境整備事業の工事跡が見える。
 菜切なぎりとは水が「なぐれる(それる)」が由来。暴れ川だった逆瀬川らしい地名である。

コラム 逆瀬川 × 探究学習

小林聖心女子学院小学校では、4年生の総合的な学習の時間に「逆瀬川の探究学習」に取り組んでいる。逆瀬川に徹底的にこだわって学ぶことで、ものごとを捉える新たな視点や考え方を身につけていく学習である。大切にしていることは2つある。

1つ目は、「本物と出会うこと」。逆瀬川のために働いておられる行政の方やボランティア活動をされている方のお話を伺う。そして、何度も逆瀬川に足を運んで現地調査をする。実物に触れ、生の声を聞くことで、「ただの川」だと思っていた逆瀬川の裏に、多くの人が関わっている姿が見えてくる。安全で自然豊かな川の裏に、日々、努力が続けられていることを知るのである。

2つ目は、「叡智^{えいち}と出会うこと」。逆瀬川について学んでいくうちに出て来た疑問を、徹底的に調べていく。本校図書館の専任司書の支援を受けながら、子供たちが自分で情報を集め、分析し、整理し、まとめていく。まとめたものは友達と交流し、やりとりの中でどんどん疑問を解決していく。この学習を通して、100年以上前から逆瀬川に関わって来た人々の歴史に触れ、多くの叡智が集まって安全で自然豊かな逆瀬川が形作られていること知るのである。

「逆瀬川の探究学習」を通して子供たちが新たに学んだことは、「自然豊かな川が身近にあったよかった」以上のことである。例えば、市街地の中に安全で自然豊かな川が存在している裏に、多くの人々の努力と叡智があること。今なお不断的努力が続いていること。市民と行政が話し合い、折り合いをつけながら川の在り方を考え続けてきたこと。逆瀬川を題材に学んだこれらの「ものごとを捉える視点や考え方」は、逆瀬川に限らず、身の回りにある多くの「当たり前に見えるもの」の裏にもあるはずなのである。この学習を通して学んだことが、子供たち自身と社会の未来を切り開く力になることを願っている。(文責:4年生担任 三澤尚久)



講演会で「人」と出会う



フィールドに出て「本物」と出会う



本や文献を調べ「叡智」と出会う



プレゼンテーションをして考えを聞き合う

引用・参考文献

■逆瀬川とは (P.2)

『角川日本地名大辞典』角川書店、1988年
『宝塚市大事典』宝塚市、2005年
『兵庫県大百科事典』神戸新聞出版センター、1983年
今西将行『生きている武庫川 改訂版』野生生物を調査研究する会、2003年

■逆瀬川 生き物図鑑 (P.3~4)

『大自然の不思議 鳥の生態図鑑 (増補改訂)』学研教育出版、2011年
『ニューワイド学研の図鑑 魚』学習研究社、2000年
『新ポケット版 学研の図鑑⑨ 魚』学研教育出版、2010年
『小学館の図鑑NEO 水の生き物』小学館、2005年
『学校のまわりでさがせる生きもの図鑑 水の生きもの』金の星社、2010年
大木邦彦『ドキドキいっぱい虫のくらし写真館<12>』ポプラ社、2004年
八木剛『兵庫県のホテル』宝塚市自然保護協会、2017年
足立勲『ホテルの不思議発見 観察が楽しくなる豆知識』自然体験教育研究所、2012年
国松俊英『名前といわれ 日本の野鳥図鑑②水辺の鳥』偕成社、1995年
大畑孝二『これがカモ！ カモなんでも図鑑』大日本図書、2001年
竹下信雄『日本の野鳥』小学館、1989年
川上和人『ポプラディア情報館 鳥のふしぎ』ポプラ社、2011年
吉田巧『鳴き声と羽根でわかる 野鳥図鑑』池田書店、2010年
さいたま水族館『超発見大図鑑10 川・池の生きもの』ポプラ社、2003年
豊田幸詞・関慎太郎『日本の淡水生エビ・カニ』誠文堂新光社、2014年
井田齊・岩見哲夫『ポプラディア情報館 魚・水の生物のふしぎ』ポプラ社、2008年
浅井ミノル・浅井桑男・松原巖樹『水のいきもの かいかた そだてかた』岩崎書店、1994年
小田英智・桜井淳史『カニ観察事典』偕成社、1996年
桜井淳史・小池康之『カニのくらし』あかね書房、2005年
企画室トリトン『ヤマケイジュニア図鑑5 水辺の生き物』山と溪谷社、2002年
秋山信彦・上田雅一・北野忠『川魚 完全飼育ガイド』エムビージェー、2006年
松沢陽士『川魚の飼育と採集を楽しむための本』学研教育出版、2012年
堤俊夫『原色ワイド図鑑 飼育II (水生動物)』学習研究社、2002年
八木剛・足立勲・藤井優恵・前田康子・三好百合子『みやまあかねとすてきななかまたち (冊子)』兵庫県人と自然の博物館、2006年
『ピカピカランドの概要 (パンフレット)』宝塚エコネット、2018年
『魚・鳥・植物 川辺で見かける生物たち (パンフレット)』環境庁水質保全局、1991年

■逆瀬川 植物図鑑 (P.5~6)

浜口哲一『楽しく学ぶ川の学校④ 川と環境・川と海と森』学習研究社、2002年
柴田敏隆『楽しく学ぶ川の学校⑤ 川辺の鳥・植物・動物』学習研究社、2002年
亀田龍吉『調べてみよう 名前のひみつ 雑草図鑑』汐文社、2017年
『ニューワイド 学研の図鑑植物』学習研究社、2000年

■日本初の「流路工」が災害を防いだ川 (P.7~8)

『宝塚市大事典』宝塚市、2005年
『宝塚市史』宝塚市、1977年
建設大臣官房技術調査室『ふるさと土木史』経済調査会、1990年
直宮憲一『宝塚の歴史を歩く』宝塚出版、2011年
赤木正雄『砂防一路』全国治水砂防協会、1963年
八幡悦央『逆瀬川百年のあゆみ (小学生版、中学生版)』兵庫県土木部砂防課、1992年
宝塚市教育委員会『1.17 忘れへんで 防災教育副読本 (小学校編)』1997年
宝塚市教育委員会『わたしたちのまち宝塚 3・4学年用』2018年
中野浩『逆瀬川物語』、2006年
川口和夫『市民が守った、武庫川と逆瀬川の自然』、2016年
宝塚市西山コミュニティ協議会『記憶に残そう 昭和の西山』2003年
逆瀬川の自然を守る会『逆瀬川だより No.1~35 (手作り新聞)』1991~2002年
兵庫県西宮土木事務所『兵庫の砂防 逆瀬川砂防学習ゾーンモデル事業 (パンフレット)』1989年
兵庫県西宮土木事務所『逆瀬川砂防事業 (パンフレット)』1992年
兵庫県土整備部土木局砂防課『兵庫の砂防 (パンフレット)』2001年
兵庫県教育委員会『兵庫県の近代化遺産—兵庫近代化遺産 総合調査報告書—』2006年

■逆瀬川の自然を守ろう！市民運動の軌跡 (P.9~10)

広報たからづか『逆瀬川が変わります 逆瀬川環境整備事業を実施』、1990年1月1日
朝日新聞『逆瀬川環境整備工事は中止 市が見解』1997年3月15日朝刊
神戸新聞『阪神間の自然破壊度調査を終えて 逆瀬川は“聖域”だった 人工河川工事の中止を』1993年9月20日朝刊

お世話になった方(講演会・フィールドワーク)

黒田明彦 (宝塚市立山手台小学校)

小川恭弘・伊藤格・他6名の方 (宝塚エコネット)

小堂剛裕 (宝塚ゴルフ倶楽部)

相崎美知子・大日向美那子・安田重雄・井上由季恵・村上二郎 (逆瀬川の自然を守る会)

宇都善和・角谷明臣・増田美佳 (兵庫県阪神北県民局 宝塚土木事務所 河川砂防課)

いずれも敬称略

逆瀬川ガイドブック ~自然と歴史を訪ねて~

非売品

発行日/2020年3月31日 第1刷

著者/小林聖心女子学院小学校 2019年度4年生児童79名(100回生)

監修/三澤尚久・桑木房子・中條美穂子・加藤愛(2019年度4年生担任団)

発行所/小林聖心女子学院小学校

〒665-0073 兵庫県宝塚市塔の町3-113

TEL 0797-71-7321 FAX 0797-72-5716

Web www.oby-sacred-heart.ed.jp



小林聖心女子学院小学校
2019年度 4年生児童

www.oby-sacred-heart.ed.jp